

消防職員専科教育

## 第9期火災調査科を実施しました

[期 間] 令和3年8月19日(木)から8月31日(火)まで  
9日間(72時間)

[会 場] 埼玉県消防学校

[到達目標] 火災原因調査に係る専門的知識及び技術を修得し、これらの知識を適切に活用して、火災調査業務を的確に遂行できる。

[教育対象] 火災調査業務に従事している者又は従事させようとする者

[修了者] 27消防本部(局)67名(男性65名、女性2名)

平均年齢 35.6歳



### 修了しての感想

火災調査科での9日間は、毎日が大変有意義なものでした。講義では火災原因調査の法的根拠から始まり実況見分要領などを、実技では電気火災実習、鑑識実習を基本から教育を受け火災原因調査の重要性を認識し、専門的知識及び技術を学ぶことができました。

この火災調査科で共に学んだ67名の仲間とは、横の繋がりを大切にして、今後は学んだことを活かし類似火災の予防に邁進したいと思います。



### 後輩へのメッセージ

火災調査科は、火災原因調査に必要な専門的知識及び技術を学べる場です。期間は9日間と短いですが、火災原因調査に必要な知識及び技術を基礎から学ぶことができます。

また、所属では実施することが難しい実習を経験することができ、スキルアップが目指せます。

是非、チャンスがありましたら入校を希望すべきだと思います。

### 修了しての感想

第9期火災調査科では、火災調査に対する法的根拠から目的、各種の鑑識要領や実験実習、調査書類の作成要領など熱い思いを持った各担当講師の講義があり、私の中で火災調査に対するベクトルが変わり、講義が進むにつれて知識が向上して行くのを肌を感じる事ができました。

そして、共に学んだ67名の学生それぞれに、火災調査に対して様々な知識や考え方があることを知りました。これらを大切な財産として、67名の仲間とともにこれからの消防業務に反映させて行きたいと思いません。



### 後輩へのメッセージ

当科は「不安」を「自信」に変えてくれる研修です。火災調査に対して不安を抱えている方は、是非入校することをお薦めします。

短時間で火災調査に関する基礎知識が飛躍的に向上する内容となっています。また、分からないことや不安に思うことを積極的に講師に質問することで、さらに興味と探求心が湧いて来るので、新たな自分を発見できると思います。

## 第9期火災調査科

### 微小火源



### 電気火災実験



### 電気火災実験



### 電気火災実験



### 質問調書聴取・作成要領



### 製品鑑識要領



訴訟事例



電気火災



鑑識実習



ガス機器安全装置の原理・構造

